

## 平成 28 年度 NPO 法人「SLIM Japan」講演会 「インフラ技術での海外展開と世界に通用する人材の育成」と 今後の維持管理についての意見交換

(特非) 社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会  
副理事長 鈴木 泉

平成 27 年度に「米国におけるインフラマネジメントの高度化に関する最新動向」というテーマで講演頂いた NEXCO-West USA, Inc の取締役社長松本氏により、平成 28 年 12 月 16 日に「インフラ技術での海外展開と世界に通用する人材の育成」と更なる展開と好事例をテーマで講演会を開催した。その内容について報告する。

今回は、共催（特非）シビル NPO 連携プラットフォーム、日本経済大学大学院 附属価値創造型企業支援研究所、協力としてインフラメンテナンス国民会議、(社)日本ファシリティマネジメント協会という組織で企画・開催された。

昨年 11 月に設立されたインフラメンテナンス国民会議では、維持管理更新等の担い手となる建設産業が持続的に発展して行くために、将来を担う技術者・技能者の確保・育成に向けた取組みを推進している。また、革新的技術の開発の社会実装を加速するために「企業内部と外部のアイデアを有機的に結合させ、価値を創造する」オープンイノベーションの手法も推進している。さらにメンテナンス産業の海外進出を目指す企業の課題解決を支援する取組みもあることから、まさに、現在進行形の講演テーマとなったことで、産官学のより多くの方々に参加した。

講演後の質疑応答から今後の維持管理についての意見交換では、冒頭に藤井事業総括調整官からのインフラメンテナンス国民会議のわかりやすい取り組み説明があったことから、国民会議への期待も含めて、若い世代の技術者をはじめ、大学生、一般市民の方々からと活発な意見交換となった。

講演概要：NEXCO-West USA, Inc.は、2011 年 1 月より米国ワシントン DC に拠点を置き、北米及び南米のインフラに対して NEXCO 西日本グループの道路橋非破壊検査技術を適用すべく事業を展開している。また、同様にインフラ技術で海外進出を考えている日本企業の支援や、海外の優れたインフラ技術の日本への導入に関する支援を通じ、インフラ技術のグローバル化への対応を促進している。その中でも独自の技術をベースに北米から南米まで至る営業活動の道のり、そしてブラジルのダムにおけるコンクリート構造物診断の実例、さらなる点検システムの技術革新について強調された。さらにソフト面の取り組みとして「Good job card」発行などのアイデアでの社員のモチベーション向上の成果、社内留学制度や、世界に通用する技術者を育成するための「NEXCO-USA 道場」の発展も紹介された。

技術面の質疑応答では、米国での技術導入のあり方、苦労した点、現地他メーカーとのパートナーシップ、営業方法、また人材育成に関して、インターシップ体験の大学生・大学院生から現地で学んだ成果と、今後の日本でのインフラメンテ産業での係わりと期待について意見が出た。インフラメンテナンス国民会議については、一般市民の方から「インフラメンテナンスにどのように関わったら良いのか」「インフラメンテナンスという言葉が分かりやすく表現できれば多くの方が賛同する」「関心があるからこの講演会に参加した」などの率直な意見を頂いた。この場面が従来になく大変印象的だったことを、参加者全員が感じたと思う。

## プログラム

● 開会	(事務局)		15:00
● 研究会代表挨拶	有岡正樹	SLIM Japan 理事長、CNCP 理事	15:05
● 来賓挨拶	藤井政人	国土交通省 事業総括調整官	15:15
● 講演	松本正人	NEXCO-West USA, Inc. 取締役社長	15:20
● 質疑応答 (進行役)	鈴木泉	SLIM Japan 副理事長	16:30
● まとめ	櫻井敬三	日本経済大学大学院 教授	17:10

## ■講演会の状況



講演会についてのアンケートからは、70%の方から「大変良い」の感想を頂き、今後取り上げてほしいテーマとしては、「国内外を問わず、インフラメンテナンスに貢献、功績を残して入る方々の講演会」、また「子供たちまでインフラメンテナンスの重要性をアピールできる内容にできたら素晴らしい」との声を頂いている。今後このような意見を反映し、「住民よし」「企業よし」「行政よし」の三方よしとなるようなワークショップ的な講演会・セミナーを開催、そして継続して行きたい。